

看護大学の現状と課題

H19.10.1

衛生部医療政策課

1 設置の趣旨・目的

少子高齢化等の社会環境の変化、医療の専門化・多様化・高度化等の対応に指導的役割を果たし得る資質の高い人材を育成するとともに、看護学の発展に寄与し、看護学の研究・研修の拠点となることを目的とする。

2 施設

(1) 所在地 長野県駒ヶ根市赤穂1694番地

(2) 敷地面積 75,733.00m²

(3) 建物延床面積 19,151.22m²

3 沿革

平成 7年 4月 看護学部看護学科開学

11年 4月 大学院看護学研究科看護学専攻博士前期課程設置

13年 4月 大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程設置

4 学部・学科の構成、入学定員等

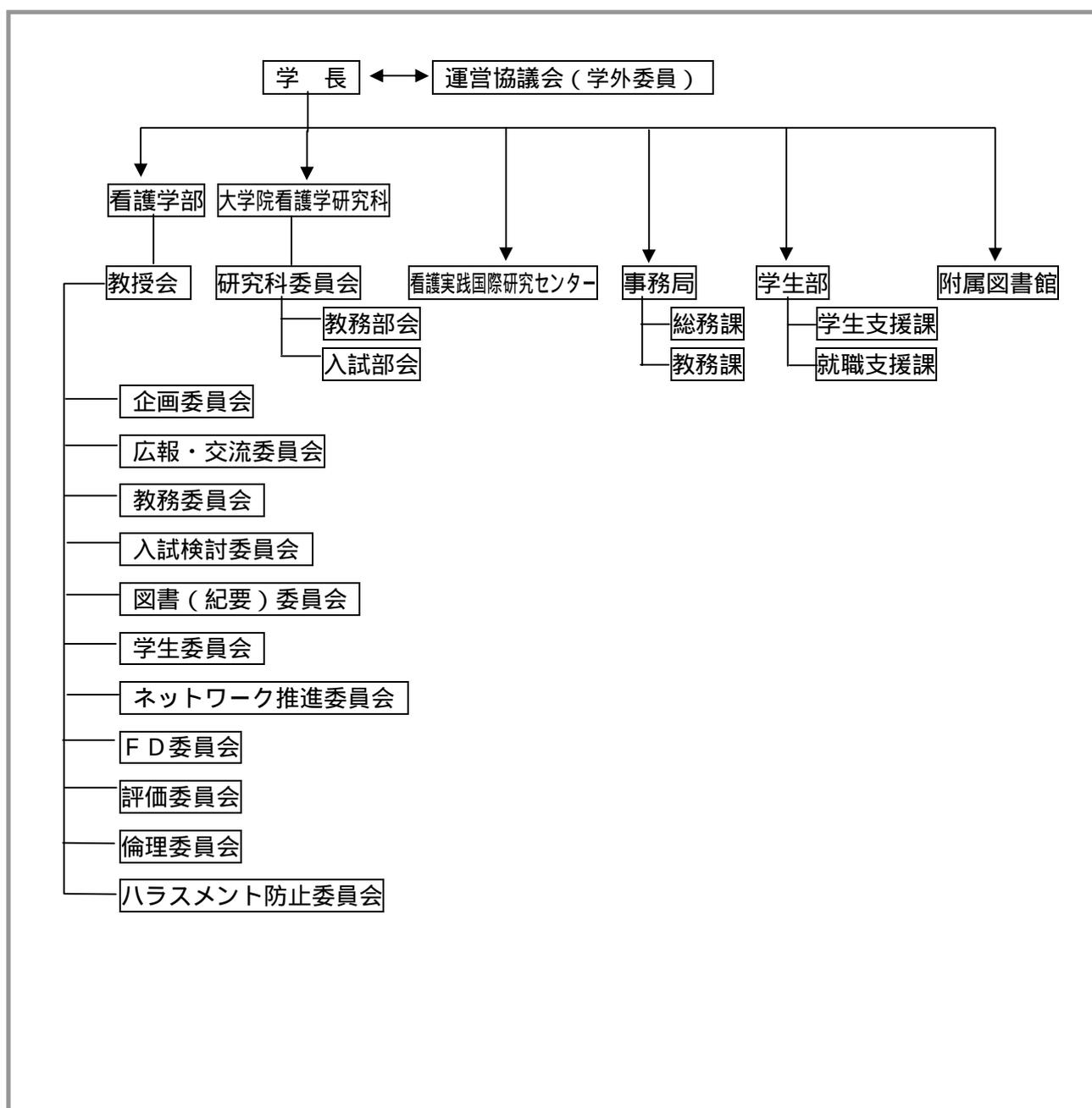
構 成	修業年限	定 員	総定員	卒業（修了）時取得可能資格
看護学部看護学科	4年	入学定員 80名 編入学定員 (3年次から) 10名	340名	学士（看護学） 看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格 助産師国家試験受験資格（選択） 養護教諭二種（保健師免許取得後）
大学院看護学研究科 看護学専攻 博士前期課程	2年	16名	32名	修士（看護学）
大学院看護学研究科 看護学専攻 博士後期課程	3年	4名	12名	博士（看護学）

5 教職員数

(単位:人)

区分	現在員数	職位別現在員数						職種別現在員数			
		学長	教授	准教授	講師	助教	助手	事務	保健師	司書	技術
教員	59	1	11	11	10	16	10				
職員	11							7	1	2	1
嘱託	3							3			
計	73	1	11	11	10	16	10	10	1	2	1

6 組織図



7 学生の状況(19年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	総定員	学 生 数		
		うち県内出身者	構成比(%)	
学 部 生	340	346 (20)	231	66.8
うち編入生	20	20 (1)	11	55.0
大 学 院 生	44	41 (3)	29	70.7
うち博士前期課程	32	31 (3)	24	77.4
うち博士後期課程	12	10 (0)	5	50.0
合 計	384	387 (23)	260	67.2

注)()内は男子の内数

8 平成19年度入学試験実施状況と入学者の状況

(1) 学 部

(単位:人)

	区 分		募集人員	受験者数 (A)	合格者数 (B)	入学者数	うち県内 (構成比%)	競争率 (倍) (A)/(B)
	特別選抜	推薦						
新 入 生	特別選抜	推薦	30 (うち社会人若干名)	57	29	29(2)	29(100.0)	2.0
		社会人		7	1	1(0)	1(100.0)	7.0
	一般入試		50	178	58	50(4)	24(48.0)	3.1
	合 計		80	242	88	80(6)	54(67.5)	2.8
編入生	編入入試		10	38	11	10	7(70.0)	3.5

注)()内は男子の内数

(2) 大学院

(単位:人)

	募集人員	受験者数 (A)	合格者数 (B)	入学者数	うち県内 (構成比%)	競争率 (倍) (A)/(B)
博士前期課程入試	16	16	14	14	10(71.4)	1.1
博士後期課程入試	4	3	1	1	0(-)	3.0

9 受験者数の推移

	募集人員	受験者数				
		15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
学部生	90	265	281	291	204	280
大学院前期課程	16	15	10	10	15	16
大学院後期課程	4	3	3	3	2	3

10 卒業生の進路（平成19年3月卒業・修了生）

(1) 学部卒業生

(単位：人)

進路先	就 職							進 学	家 居	計
	県 内	県 外	計							
				看護師	保健師	助産師	教員			
学生数	59	27	86	68	12	5	1	0	1	87

【国家試験合格状況】〔大学新卒数値〕

区 分	看護師	保健師	助産師
本学合格率	97.4 %	100 %	100 %
全国合格率	90.6 %	99.0 %	94.3 %

(2) 大学院前期課程修了生

(単位：人)

進路先	就 職					進 学	その他 家居	計
	県 内	県 外	計					
				看護師 ・助産師	大学教員等			
学生数	3	4	7	1	6	0	1	8

(3) 大学院後期課程修了生

(単位：人)

進路先	就 職				計
	県 内	県 外	計		
				大学教員等	
学生数	1	2	3	3	3

(4) 看護学部卒業生県内就業率の推移

卒業年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
県内就業割合	50.6%	45.5%	54.4%	63.3%	68.6%

11 運営費等

(単位:千円)

	区 分	19年度 予算額	18年度 予算額	増減額	備 考
支 出	大学管理費	629,124	630,999	1,875	
	人件費	497,368	511,278	13,910	職員給与
	報償費、費用弁償	8,359	8,359	0	外部講師
	運営費	123,397	111,362	12,035	学校維持費等
	教育研究費	96,528	99,801	3,273	
	教育関係経費	27,481	26,580	901	学生の教育経費
	教員研究費	59,807	63,472	3,665	教員の研究経費
	図書館経費	9,240	9,749	509	
	合 計	725,652	730,800	5,148	
	財 源	授業料等	234,908	236,875	1,967
一般財源		490,744	493,925	3,181	

12 看護大学をとりまく環境と課題

項目	内容	課題
少子化の進展	・ 18歳人口は平成4年の205万人を境に減少を続け、平成22年には120万人に減少すると予想。	・ 学生に選ばれる、魅力・特色のある大学づくりが求められている。
看護系大学の増加	・ 県内においても平成20年度に佐久市に看護系大学(佐久大学:入学定員80人)が開校予定。信州大学(入学定員70人)と併せ、入学定員が230人となる。	
行財政改革の推進	・ 地方行財政が非常に厳しさを増している中、長野県においては、平成19年2月に長野県行財政改革プランを策定した。	・ 財政状況の厳しい中、大学についても例外はなく、効率的な大学運営が求められている。
ニーズの多様化	・ 大学に対するニーズは、様々に多様化してきている。	・ ニーズの多様化に対応するため、迅速な意思決定及び実行力の確保が求められている。
地域貢献	・ 大学に対しても地域に対して研究成果を還元することが求められている。	・ 地域に根ざした大学として地域貢献が求められている。